

## トピックス

### ■ インバータポンプを発売

新シリーズのインバータポンプ（PD-51型／PD-103型）を開発し発売いたしました。



この製品は、汎用インバータとDC（直流）ポンプのセット品とすることで、電源周波数に回転数が依存されることがなく、インバータのボタン操作によりポンプ流量を細かく調整することができます。

主な用途として、化学液などの循環用として使用されます。

## 会社概況

（平成24年9月30日現在）

商号 三相電機株式会社  
〒671-2288  
兵庫県姫路市青山北一丁目1番1号  
TEL(079)266-1200 FAX(079)266-1206

設立 昭和32年10月11日

資本金 8億7,160万円

従業員数 568名（連結）

事業内容 小型モータおよび小型電動ポンプの製造・販売、金型の製造・販売

## 株式の状況

（平成24年9月30日現在）

会社が発行する株式の総数	36,000,000株
発行済株式の総数	9,143,200株
株主数	590名
1単元の株式の数	1,000株

## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで  
定時株主総会 毎年6月開催  
基準日 定時株主総会 毎年3月31日  
期末配当 毎年3月31日  
そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】  
証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。証券会社の口座のご利用がない株主様は、下記電話照会先までご連絡ください。

### 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社

### 株主名簿管理人事務取扱場所

大阪市中央区北浜四丁目5番33号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

### （電話照会先）

※平成25年1月より郵便物送付先・  
電話照会先が変更となります。

〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
(0120)782-031

（URL） <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

公告の方法 当社のホームページに掲載いたします。  
<http://www.sanso-elec.co.jp/japanese/koukoku>

上場金融商品取引所 株式会社大阪証券取引所

この報告書は、当社第56期中間の状況をお知らせするものであり、株主総会の招集や配当金のお支払いをお知らせするものではありませんので、ご了承願います。

## 株主のみなさまへ

### 第56期中間

# 株主通信

平成24年4月1日～平成24年9月30日



代表取締役社長 黒田直樹

株主のみなさまには、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに2012年度（2012年4月1日から2012年9月30日まで）の営業の概況につきましてご報告申し上げます。

今後とも変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成24年11月

 三相電機株式会社

証券コード 6518

## 営業の概況

### 業績の概況

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、東日本大震災からの復興需要を背景に緩やかな回復が続く一方で、海外経済の減速等により輸出が減少し、景気は非常に厳しい状況で推移してまいりました。

当社グループにおきましては、国内外の景気の減速から、関係する業界においても市場が低迷することで、受注は低調に推移してまいりました。

このような事業環境の中、お客様の要望にきめ細かく対応することで顧客満足度の向上を図るとともに、新規受注獲得に向けた営業活動を推進しております。具体的には、世界各国で省エネルギー化となるインダクションモータの高効率規制が進んでいることから、市場ニーズに対応した高効率モータの開発を行い、販売促進を行っております。

また生産拠点の統廃合や生産性向上などの諸施策を実施し、業績回復に努めております。なお、本年5月の新宮工場竣工により、第1四半期連結会計期間において機械設備の移設に伴う費用や消耗品などの経費が一時的に増加しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は54億67百万円（前年同期比86.4%）となり、営業損失は25百万円（前年同期は3億87百万円の営業利益）、経常損失は6百万円（前年同期は3億82百万円の経常利益）となりました。また、四半

期純利益は4百万円（前年同期比1.0%）となりました。

### 今後の取り組み

今後の業績の見通しといたしまして、国内では東日本大震災の復興需要に期待がもたれますが、欧州や中国など海外経済の減速により、景気の先行きは依然として不透明感が払拭できない状況で推移するものと考えられます。

当社グループにおいては、更なる生産の最適化を推し進めるために、国内生産拠点の生産効率を高めるとともに、海外の業務提携先で当社製品の委託生産を行うなど、企業競争力を高めております。また、省エネルギーの要望に対応した製品の開発により、環境社会へ適合した製品の販売を進めてまいります。

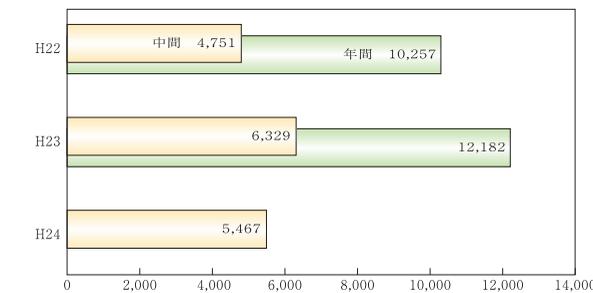


〈新宮工場〉

## 連結業績の概要

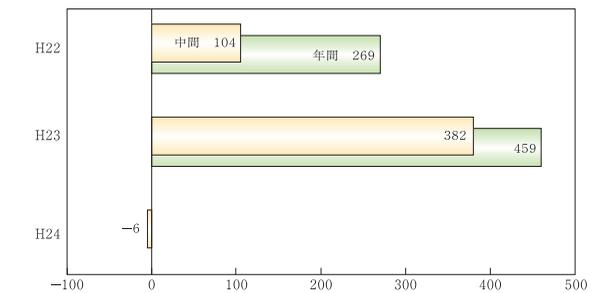
### 売上高

(単位：百万円)



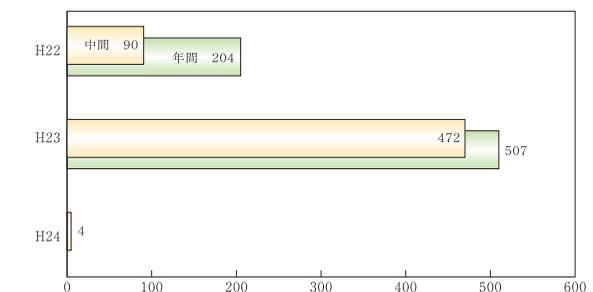
### 経常利益

(単位：百万円)



### 当期純利益

(単位：百万円)



### 要約連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当第2四半期連結会計期間末 (平成24年9月30日現在)
<b>資産の部</b>	
流動資産	7,060
固定資産	3,868
有形固定資産	2,886
無形固定資産	75
投資その他の資産	906
<b>資産合計</b>	<b>10,929</b>
<b>負債の部</b>	
流動負債	3,545
固定負債	1,774
<b>負債合計</b>	<b>5,319</b>
<b>純資産の部</b>	
株主資本	5,692
資本金	871
資本剰余金	1,825
利益剰余金	3,034
自己株式	△39
その他の包括利益累計額	△83
その他有価証券評価差額金	△117
為替換算調整勘定	34
<b>純資産合計</b>	<b>5,609</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>10,929</b>

### 要約連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	5,467
売上原価	4,674
売上総利益	793
販売費及び一般管理費	819
営業利益	△25
営業外収益	23
営業外費用	5
経常利益	△6
特別利益	23
特別損失	0
税金等調整前四半期純利益	16
法人税、住民税及び事業税	10
法人税等調整額	1
<b>四半期純利益</b>	<b>4</b>